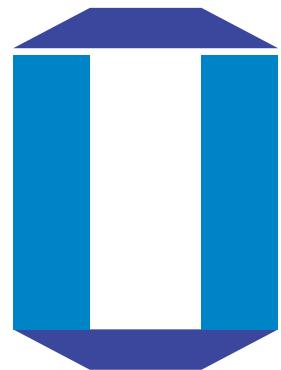


岡山大学

歯学部 —

OKAYAMA UNIVERSITY
DENTAL SCHOOL

● 歯学科



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



2023年度 学部案内



目 次

岡山大学歯学部案内

2023

学部長挨拶	3
沿革	4
教育理念	5
カリキュラム	6
グローバル教育	9
卒業後の進路	
卒後臨床研修センター	10
大学院	11
活躍する先輩たち	12
研究室紹介	
サークル紹介	16
交通アクセス	
わたしの岡大ライフ	18
キャンパス紹介	20
病院紹介	22

地域社会・ 世界を俯瞰する

地域から世界に至るまで、
多様な場面で活躍できる
「実践的歯科医療人」の育成

歯学部長
大原 直也



岡山大学は、長い歴史を有し10学部からなる総合大学です。歯学部は、1979年（昭和54年）に国立大学としては最も新しい歯学部として設置されました。医療系では、保健学系の学科を含む医学部、歯学部、薬学部が揃っており、さらに自然科学から人文、社会科学的な分野までの幅広い学系が存在し、総合大学の特性を生かした文理融合教育、研究を実践しています。入学試験では前期一般入試の他に学校推薦型入試、外国人留学生入試、国際バカロレア入試、学士入試（2年次編入）、など多様な入試制度を活用し、個性を有する多彩な人材を求めています。

歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視し、教育・研究を通して世界最高水準の歯科人材を育成することを教育目的としています。地域社会に貢献できる歯科医師を養成するのはもちろんですが、その活躍の場を大学教員、研究職、行政職、さらに海外にまで広げていける人材の養成を行っています。そのようなグローバルな活動力と連携力を有した「実践的歯科医療人」の育成を目指し、日々教育カリキュラムの改革・改善を行っています。新時代の歯科医師に必要な現場力、実践力のために課題解決型学習やアクティブラーニングを推進し、地域の歯科医師会とも有機的に連携しながら新たな教育カリキュラムを展開しています。また、高度な歯科医療の提供、研究、教育のために、医学部、薬学部、岡山大学病院との密接な連携により、多職種連携や医療支援、周術期管理などを強化し、超高齢社会に対応できる広い視野を有する歯科医師育成のため、さまざまな取り組みを続けています。

海外大学とのネットワークも重視しています。全国に先駆けて開始された短期海外留学制度（ODAPUS）は20年の歴史を有し、これまでに200名を超える学生が海外留学を果たしています。学年の60%の学生が派遣された年もありました。夏季休業や春季休業を利用できる体制も整備しています。このプログラムでは海外からも多くの留学生を受け入れており、多様な国々の留学生と直にふれあうことで、グローバルな活動力と実践力を身につけることができます。

歯学部卒業後には、高度な歯科医療を学んで臨床専門医を目指す大学院も用意されています。臨床を重視したプログラムにより、学位（博士）と専門医の取得を同時に目指すことができます。さらにその先の生涯教育にも取り組んでいます。この教育におけるシームレス化、また地域社会や海外とのシームレス化を実行するために、歯学部棟の機能改修を行っています。2年後には完了し、新しい学びの場となる予定です。

岡山大学歯学部の卒業生は、国際的な医療基準に立脚した知識、技術と医療態度を身につけ、高い評価を得て活躍しています。皆さんも岡山大学歯学部で学び、医療の分野で世界を牽引する実践力を身につけ、地域のみならず世界で活躍する歯科医療人を目指しましょう。



明日の医療における歯科医療

全身と心の健康に満ちた生活を支えるための口腔機能を追求する
歯科医師や研究者を育成します。

沿革

学部

昭和 52 年 4 月	歯学部創設準備室設置
昭和 54 年 10 月	岡山大学歯学部設置
昭和 55 年 4 月	歯学部第一期生受入(入学定員 80 人)
昭和 56 年 12 月	歯学部校舎および附属病院棟新営工事竣工
昭和 57 年 4 月	歯学部専門課程の授業開始
昭和 59 年 4 月	18 講座設置完了
昭和 63 年 4 月	入学定員 60 人となる／大学院歯学研究科設置
平成 12 年 4 月	入学定員 55 人となる
平成 13 年 4 月	大学院医歯学総合研究科(博士課程)を設置
平成 14 年 4 月	歯学部学士入学第一期生受入(3 年次編入；入学定員 5 人)
平成 15 年 4 月	大学院医歯学総合研究科(修士課程)を設置
平成 16 年 4 月	国立大学法人岡山大学へ移行
平成 17 年 4 月	大学院医歯薬学総合研究科(博士課程・修士課程)を設置
平成 23 年 4 月	入学定員 48 人となる
平成 26 年 6 月	先端領域研究センターを設立
平成 26 年 8 月	国際バカロレア入試を開始
平成 27 年 4 月	歯学教育・国際交流推進センターを設置
平成 28 年 4 月	歯学部学士入学編入年次変更(2 年次編入)
平成 29 年 9 月	応用情報歯学分野を設置

病院

昭和 55 年 4 月	歯学部附属病院創設準備室設置
昭和 57 年 4 月	附属病院棟新営工事竣工、歯学部附属病院設置、診療開始(7 科、20 病床)
昭和 58 年 4 月	診療科増加(9 科)、病床数増床(40 床)
昭和 59 年 4 月	診療科増加(10 科)
平成 5 年 4 月	診療科増加(11 科)
平成 7 年 11 月	特殊歯科総合治療部(院内措置)を設置
平成 13 年 4 月	特殊歯科総合治療部(省令措置)および地域医療支援室(院内措置)を設置
平成 14 年 2 月	口腔インプラント外来および顎関節症・口腔顔面痛み外来を設置
平成 14 年 12 月	卒後臨床研修センターを設置(院内措置)
平成 15 年 4 月	審美歯科外来を設置
平成 15 年 10 月	歯学部附属病院と医学部附属病院を統合、医学部・歯学部附属病院を設置
平成 16 年 4 月	国立大学法人岡山大学へ移行
平成 19 年 1 月	医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称(医療法上)
平成 21 年 4 月	医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称(組織上)
平成 22 年 12 月	特殊歯科総合治療部を廃止、スペシャルニーズ歯科センターと医療支援歯科治療部を設置
平成 25 年 1 月	口腔検査・診断センターを設置
平成 27 年 5 月	口唇裂・口蓋裂総合治療センターを設置
平成 29 年 5 月	侵襲性歯周炎センターを設置
平成 30 年 10 月	デンタルインプラントセンターを設置
令和 3 年 3 月	歯科系診療科を 4 診療科(歯科、口腔外科、矯正歯科、小児歯科)に改編し、歯科の中に 8 歯科系部門(総合歯科部門、保存歯科部門、歯周科部門、口腔インプラント科部門、補綴歯科部門、予防歯科部門、歯科放射線科部門、歯科麻酔科部門)、口腔外科の中に 2 歯科系部門(顎口腔再建外科部門、口腔顎顔面外科部門)を設置



を創出しよう!



アドミッションポリシー

教育内容 ・特色

歯学部の使命は良き歯科医療人を育成し、歯科医学を研究し、発展させることです。社会のニーズの多様化と国際化が急激に進む中で、歯科医療もますます高度化しつつあります。歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視した人材育成を行っています。

歯科医学は幅広い総合的な学問領域です。歯学部では自然科学から人文、社会科学的な分野の教育、研究も行われています。文系・理系に関わらず、さまざまな特性をもつ学生が活躍できる学部です。

求める人材

次のような熱意のある人を求めています。

1. 歯学教育を受けるに十分な基礎学力を持っている人
2. 他人を思いやる優しさと高い倫理観を持っている人
3. 何事にも意欲的に取り組むことができる人
4. 生命科学・健康科学に強い好奇心と探究心を持っている人
5. 歯科医師として国民の健康、福祉・介護、さらには国際医療に貢献したいという明瞭な目的意識を持っている人

【入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと】

高校では特定の科目に偏ることなく、授業に意欲的に取り組んでください。知識を習得するだけでなく、様々な社会の問題に关心を持ち、そして自分の考えをもって行動する姿勢は、歯学分野において社会に貢献するための基礎となる全人的な能力の育成に必要不可欠なものです。

※歯学部のアドミッション、ディプロマ、カリキュラムの各ポリシーは歯学部ホームページでご覧ください。
https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/policies_j.html

※推薦型選抜の対象者は、高校卒業見込み、ならびに卒業後2年以内の方となります。
各高校の推薦人数は4名までです。



カリキュラム

世界に通じる全人的医療人を育成します。



7 プロフェッショナルとして臨床事実に基づく歯科医療を行うための基礎を修得します。



8 講義シリーズ(生活習慣病と口腔・急性期医療・在宅介護医療)
超高齢社会に対応するための課題解決型講義。e-Learningでいつでも繰り返し学ぶことができます。

マネキンを患者と想定して、様々な歯科臨床技術を習得します。

第1学期

診療参加型 臨床実習 10

臨床実地試験

- シミュレーション実習
- 在宅介護歯科医療実習

専門歯学臨床科目 講義・実習

講義シリーズ 8

- 総合歯科医学
- 死生学・認知症

臨床技能 実習 9

全国共用試験
(CBT・OSCE)

進級判定

隣接医学講義 6

専門歯学基礎科目 講義・実習

EBMとプロフェショナリズムへの覚醒 7

- 医療コミュニケーション学演習 3
- 医療法學・社会福祉学



教養教育科目

早期見学実習 2

6年次

5年次

4年次

3年次

2年次

編入学(学士入学)

1年次

一般入学

第2学期

1



テーマに沿った話題について、グループごとに討論、発表することで、自己学習能力を習得します。

2

新入生が医療施設の見学や体験実習、患者さんのエスコート実習を行い、医療人としての自覚を持ちます。

3



対人コミュニケーション実習で得た知識やスキルを活用して、各症例に沿った問題を発見し、グループ討論を行います。

第115回(令和3年度)

歯科医師国家試験

合格率90.2%

(全国平均77.1%)

10年平均88.4%

10



実際の臨床の現場にて、教員の指導のもとで臨床技能と態度を養います。

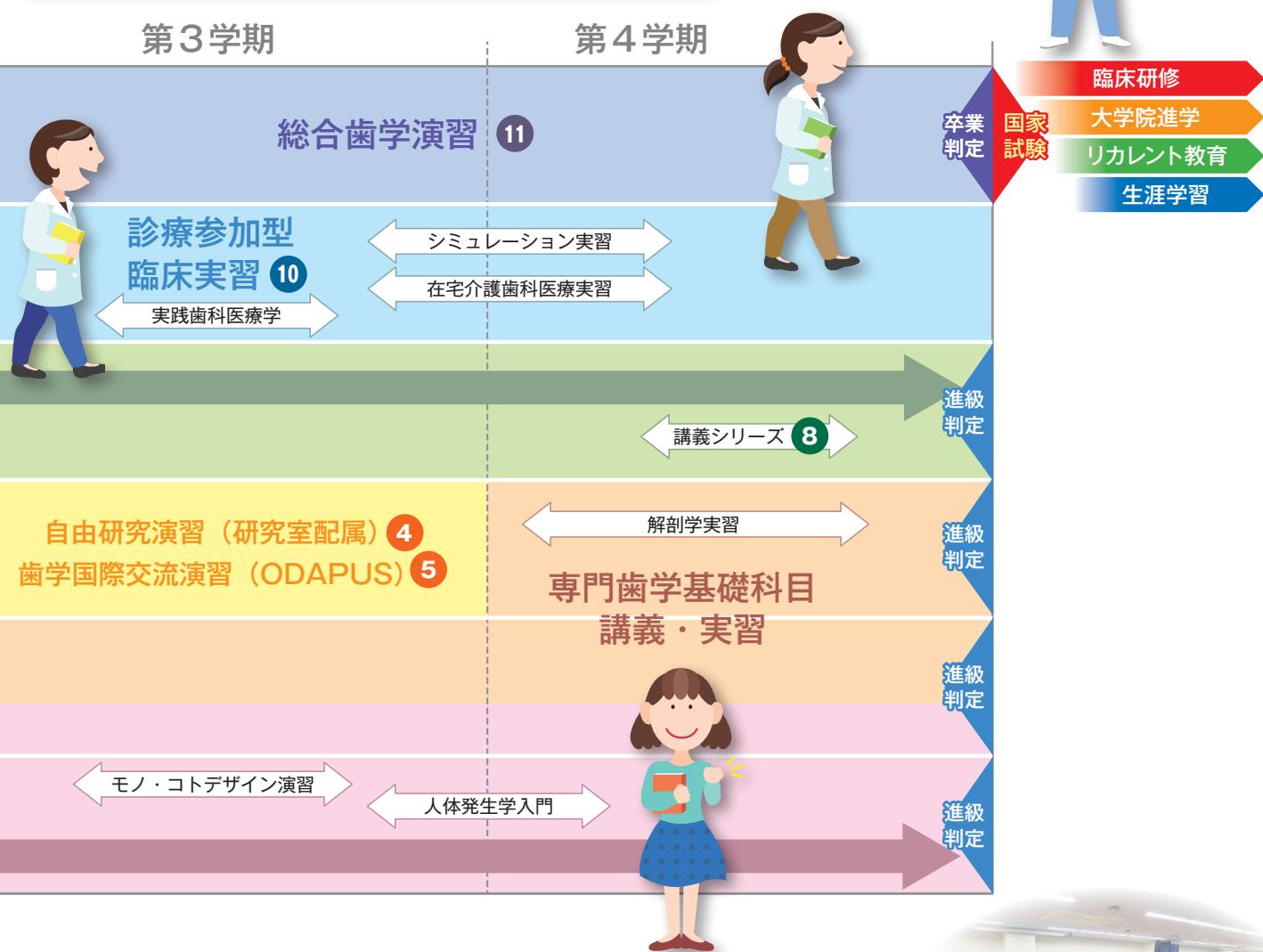
11

臨床実習を終え、これまでの歯学教育内容を整理し、歯科医師国家試験のための準備を行います。



第3学期

第4学期

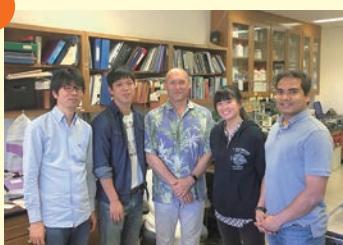


4



各研究分野において学生が自ら実験研究に参画し、科学的視点を身につけます。

5



海外の大学の聴講生として短期留学し、広い視野を身につけます。

6

岡山大学医学部から講師を招き、臨床医学について学びます。

※詳細および編入学（学士入学）については歯学部ホームページを参照してください。 <https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>

カリキュラム

歯学部学士教育課程の構築と 独自の専門教育

■ 専門教育（科目の構成）

- ▶ モデル・コア・カリキュラム準拠
(全国共通能力基準をクリア) 60 ~ 70%
- ▶ 独自のカリキュラム (多彩な能力を修得) 30 ~ 40%



図1 早期見学実習

■ オンライン授業（新型コロナウイルス感染症にも対応）

- ▶ オンデマンドおよびリアルタイム授業



図2 チュートリアル

■ 独自のカリキュラム

- 1 早期見学実習 1年次（図1）
- 2 チュートリアル（問題発見解決型学習法） 1年次（図2）
- 3 自由研究演習（研究室配属）または歯学国際交流演習(ODAPUS) 3年次
- 4 医療コミュニケーション学演習 3年次
- 5 EBMとプロフェッショナリズムへの覚醒 4年次
- 6 在宅介護歯科医療・シミュレーション実習 5・6年次（図3）
- 7 診療参加型臨床実習 5・6年次（図4）



図3 シミュレーション実習

学士課程教育の構築：進化しつづけるカリキュラム

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）の設定と見直し

カリキュラムポリシー・カリキュラムマップに基づく体系的カリキュラム編成

- 多様化する社会のニーズに即応した教育内容
- アクティブ・ラーニングの積極的応用
- 60分授業化と単位の実質化促進
- 研究マインド育成プログラムの設定
- グローバル人材育成科目の導入



図4 診療参加型臨床実習

各ポリシー等は、https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/policies_j.html を参照してください。



自由研究演習（研究室配属）

細川 真暉 4年次生 片山学園高等学校（富山）出身



私は自由研究演習（研究室配属）において口腔生化学分野にお世話になりました。今回の配属では歯を含む硬組織由来の細胞の増殖における特異性の研究に携わらせて頂きました。

私はこれまで研究に触れたことがなく不安もありました。しかし、先生方が専門的分野についても一からわかりやすく教えてくださったお陰で次第に理解が深まり、2ヵ月間興味を持って楽しみながら取り組むことが出来ました。

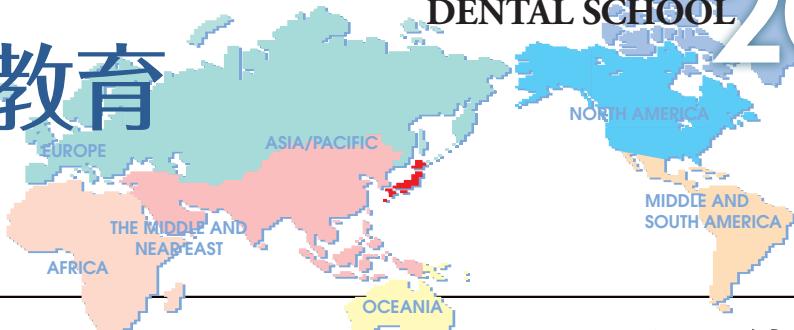
研究は基礎科目の授業とは全く異なり自分の手で作業をし、考え、さらに他の人に伝える、というプロセスがあり、その一つ一つが魅力です。進めていくにつ



れて当初予想していたものとは異なった結果になり、さらにそこから新しい疑問が生まれる面白さ、奥深さを知りました。

研究に興味のある学生はもちろん、今は臨床をメインに考えている、または将来を決めていない学生にとっても将来の選択肢が増え、視野が広がる良い経験になります。みなさんぜひ参加してみてください。

グローバル教育



海外研究者によるODAPUSオンラインセミナーを開催

世界的な COVID-19 の流行の煽りを受け、残念ながら ODAPUS による国際的な人的交流は停止し、2022 年 3月末の今もなお再開の目途が立たない状況が続いている。国際的な医療人や研究者を目指すための動機付けだけでなく、キャンパス内の言語や文化の多様性も危ぶまれています。この様な状況下においても、国際マインド維持や国際化推進を持続させるため、リアルタイムの Web セミナーを長期休業期間を利用して開催しました。夏季休業期間には、出口先生（オハイオ州立大学）、奥舎先生（ハーバード大学）、ACING 先生（インドネシア・ハサスデイン大学）、春季休業期間には、Siddiqui 先生（メリーランド大学）、池田先生（ウィスコンシン州立大学マディソン校）とのリアルタイムオンライン交流を行いました。



SCRP日本代表選抜大会で優勝！

令和3年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRP) 日本代表選抜大会で、歯学部4年生の棚井あいりさんが優勝しました。本大会は、日本の将来を担う歯科学生の研究意欲を高めるため、日本歯科医師会主催で1995年に始まった伝統ある大会です。2021年度は、全国歯科大学・歯学部29大学のうち21校の歯学部生代表者が参加しました。大会では、学生自らが主体的に行った未発表の研究を英語で発表します。4名が残った最終審査では7分のプレゼンテーションの後、審査員の質疑応答が行われました。棚井さんは、「歯周病が胎盤・胎児の成長発育に与える影響」に関する分子メカニズムの解明に挑戦しました。国際的な視野にたち、リサーチマインド溢れる発表が評価されました。棚井さんは米国アトランタ市で行われる国際歯科研究学会米国部会で日本代表として発表します。日本歯科医師会からは、歴代の優勝校が刻まれたトロフィーが贈呈されました（右写真）。



SCRP ホームページ
<https://www.jda.or.jp/dentist/scrp/>



岡山大学ホームページ
https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/tp/news/news_id10620.html



岡山大学プレスリリース
https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/press_r3/press20211130-2.pdf

山陽新聞 「妊娠中の歯周病 胎児の発育阻害か 岡山大生 3月国際学会で研究発表」で検索

歯学部棟が新しく生まれ変わります。

歯学部の学びの中心である歯学部校舎と大学病院歯科系診療部門が入る歯学部棟は1981年12月に完成し、約40年が経ちました。この間に歯学部や大学院の教育、また歯科の診療は大きく変貌しており、さらに変化しようとしています。これから時代に即した歯学教育・研究・臨床を行うにふさわしい「オールタイムシームレスな教育環境」を構築するため、歯学部棟の機能改修工事を行っています。現在、歯学部棟西側のI期工事が完了し、II期工事が始まっています。

令和5年3月 病院部分完成

令和6年3月 全館リニューアルオープン（予定）

オールタイムシームレスな教育環境

- ▶ 歯学部、卒後臨床研修、大学院、生涯教育（リカレント教育）の切れ目のない学び
- ▶ 海外教育研究機関とのつながりの強化
- ▶ 地域社会とのつながりの強化
- ▶ 教育、研究、臨床のつながりの強化
- ▶ ICT 時代の歯科教育の実践

卒業後の進路

研修医
センター

充実した歯科医師卒後臨床研修の提供

卒後臨床研修センター 歯科研修部門



卒後臨床研修センター歯科研修副部門長

白井 肇 講師

兵庫県立姫路西高校 昭和 58 年卒業

平成 18 年から歯科医師法が改正され、新たに歯科医師免許を取得した歯科医師は 1 年以上の臨床研修を受けることが義務化されました。これに対応して、岡山大学病院では、1 年間の充実した歯科医師臨床研修を行うことが可能なプログラムを提供しています。

本院での研修の目標は、医療人である歯科医師にとって必要な態度、知識および技能を習得し、生涯研修の第一歩とすることです。この目標を達成できるように、机やロッカー、パソコンを設置した研修歯科医室など充実した研修ができる環境も提供とともに、歯科臨床のみならず、セミナー、カンファレンス、さらには救急救命講習等を組み込んだ魅力的なカリキュラムとしています。また、研修歯科医が日々の診療を振り返ることにより多くの気付きが得られ、歯科医師としてのプロフェッショナリズムを学ぶ手助けになるように、パソコンを使った独自の研修教育システムも活用しています。

このような本院での卒後臨床研修は、社会から期待される歯科医師となるための礎として研修歯科医各自の将来に向けて有効に役立ててもらえるものと確信しています。



OB・OGは今…



藤田 貴彦 弁護士（愛媛県）

（平成 17 年卒業）（愛媛県立西条高等学校 平成 11 年卒）

歯科医師として数年間勤務した後に弁護士になりました。現在は臨床からは離れていますが、他の弁護士にはない特徴である歯科医師としての臨床経験や知識を生かして、歯科医療過誤などの歯科医師からの相談も主な取扱業務になっています。卒業後は臨床や研究以外にも活躍できる場が無数にありますので、学生の皆様が多方面でご活躍になられることを願っています。



大学院

医・歯・薬の3学部が連携して次世代の健康科学を開拓する 大学院 医歯薬学総合研究科



大学院では、海外からの留学生、あらゆる学部の卒業生、社会人として活躍中の人々が、今までの歯科医学の枠を超えた斬新な視点から日夜研究を進め、健康科学の明日を導く旗手として世界中の注目を浴びています。

令和5年度からは専攻を一本化し、新たな学位プログラムが始動します（予定）。

多様化する社会の要請に応える工夫された課程



在学中
卒業
国家試験

初期研修医
(歯学系1年)

後期研修医

社会人

大学院博士課程

(標準修業年限4年)

医療職
研究職
等
行政職

歯学学位プログラム

臨床専門医養成

- 文部科学省採択事業「医療系大学院高度専門医養成コース」が母体
- 文部科学省採択事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」を推進
- 「臨床研究デザインワークショップ」などの特色ある研究教育カリキュラム

医歯薬学専攻

授与される学位の種類
博士（歯学）
博士（学術）

ボーダレス歯学研究者養成プログラム

国際的学際的研究者養成

- 文部科学省国費外国人留学生を優先配置する特別プログラム「ASEAN 中核医療系大学と連携する口腔器官再生・再建・統合大学院特別コース」
- O-NECUS 特別入試による国際教育
- 「医歯薬学プレゼンテーションプラクティス」など特色ある研究教育カリキュラム

—臨床技術や臨床決断能力を教育し臨床を真剣に科学する—

歯学学位プログラムは、各学会の専門医制度と同調しながら、学生の臨床能力（知識、技術、態度）を博士（歯学）にふさわしいレベルにまで向上させ、国民が求める医療の質を担保することを目的としたプログラムです。臨床を科学する本プログラムでは、臨床の現場に立ち、臨床現場における問題点を見出し、それらを解決するプロセスを学ぶことで、臨床エビデンスをひもとく方法を習得します。

現在、多くの大学院生が本プログラムで学び、高度な技術を持った専門医を目指しています。日本では歯科臨床専門医のニーズが日に日に高まっていきます。

ボーダレス歯学研究者プログラムは、国境（国のボーダー）を乗り超えて活躍できる研究者を養成するため、我が国を中心にアジアの若き頭脳を結集し、歯学のパラダイム（学問的ボーダー）を超えた発展をもたらす人材を養成することを目的に設置されました。

すでに中国、ベトナム、インドなどから集結した大学院生が、国内からの院生とともに未来の歯学研究を開拓すべく、日々切磋琢磨しています。

OB・OGは今…



恒石 美登里 日本歯科総合研究機構 主任研究員
(平成8年卒業) (土佐高等学校 平成元年卒)

日本歯科医師会に設置された日本歯科総合研究機構で、主任研究員をしています。歯科医師を目指す方々にとって魅力ある歯科医療・口腔保健政策の維持・向上を目指し、最終的に国民の健康な生活の確保に少しでも貢献できればと考えています。

学生の国際交流・留学を手厚く支援します

国際部（鹿田分室）





活躍する先輩たち

岡山大学歯学部の卒業生は、さまざまな分野で活躍しています

昭和63年卒業 松香 芳三
徳島大学 大学院医歯薬学研究部
頸機能咬合再建学分野 教授

歯科補綴(ほてつ)学分野において、口腔組織の再生・再建、口腔顔面痛、睡眠時歯ぎしり、歯科金属アレルギーなどに関する教育・臨床・研究を行っています。最近、ふとした拍子で岡山大学歯学部在学中のことをよく思い出しまして、多彩なことを学ぶことができたことを感謝しております。岡山大学歯学部には変わった学生が多く在籍しております、卒業後は人生を謳歌しております。一味変わった歯科医師を目指してみるのはいかがでしょうか?



平成元年卒業 船橋 誠
北海道大学大学院歯学研究院 口腔生理学教室 教授
北海道大学脳科学研究教育センター 教授(兼任)

生理学の教育と悪心・嘔吐の神経機構に関する基礎研究に従事しています。生理学は人体の正常機能に始まり自然哲学に通じるのが魅力です。世の中がAIを駆使したSociety 5.0へ激変する中、学問の世界には普遍的価値を見いだすことができます。後輩の皆さんがそれぞれの学問の世界を極めて、ずっと幸福ありますよう願っています。



平成14年卒業 山城 圭介
神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 教授

令和3年4月より、口腔保健学科にて歯科衛生士の養成に携わっています。口腔保健学科は令和4年に短期大学部から4年制へと移行する予定です。また現在全国で多くの歯科衛生士養成機関が新たに設立されています。これらは口腔の健康管理が全身の健康向上へ寄与することが広く知れ渡ってきたためです。歯科界は決して斜陽産業ではなく、超高齢化社会真っ只中の日本において大変重要な役割を担っているのです。岡山大学歯学部の出身者は、様々な分野にて活躍、貢献することが期待されています。臨床、研究、教育の現場でぜひ大きく羽ばたいてみてください。



平成4年卒業 犬飼(林崎) 順子
愛知学院大学 短期大学部 歯科衛生学科 学科長・教授

最近は教育の質保証という名のもとに私立の短期大学でも大学の改革が迫られており、多忙な日々を送っています。愛知学院の歯科衛生士の養成は歴史と実績があり、充実した質の高い教育を提供し学生が誇りを持って卒業できるように心がけています。岡山大学歯学部の学生・卒業生のみなさんも、誇りを持って活躍されることを期待しています。



平成8年卒業 西谷 佳浩
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
歯科保存学分野 教授



岡山大学でも昨年からオンライン授業が突然始まったと思います。担当する歯科保存学では間違い探しやクイズ形式の動画など、せっかくなのでオンライン授業ならではのコンテンツ作りを、医局員で協力しながら楽しんでいます。皆さんもぜひ学修環境の変化を前向きにとらえて楽しい学生生活を送ってください。

平成19年卒業 堀内 美希

国立研究開発法人日本医療研究開発機構研究公正・業務推進部研究公正・法務課 (兼)国際戦略推進部 国際戦略推進課
安全保障輸出管理グループ調査役
弁護士 歯科医師



卒業後に大阪大学(法科大学院)へ進学し、現在は研究機関の環境整備など日本の医療研究をサポートする公的機関で弁護士として働いています。在学時、先輩や留学生の研究補助を行いました。先輩方が診療後に研究に没頭し、何年もかけて研究成果を出す姿を目の当たりにしました。この姿を心に留め、日本の医療研究の発展のため自己研鑽に励んでいます。

平成元年卒業 山本 龍生

神奈川歯科大学 歯学部 社会歯科学系健康科学講座 社会歯科学分野 教授・神奈川歯科大学 教学部長

2009年に岡山大学から神奈川歯科大学に赴任いたしました。岡山大学病院予防歯科で経験した歯科疾患予防を、国や国際社会の政策に結びつけ、「一生自分の歯で食べられる社会」を実現するために教育と研究を行っています。歯科医師の活躍の場は、臨床だけでなく、WHO、厚生労働省、都道府県などの行政機関もあります。歯科保健医療の政策に関わる歯科医師が増えることを願っています。

平成24年度卒業 大久保 圭祐

元厚生労働省 医政局 経済課 医療用物資等確保対策推進室
医療用物資・衛生用品確保対策専門官
厚生労働省 医政局 経済課 医療機器政策室 室長補佐(併任)



学部卒業の後に大学院修了後、地方病院勤務と海外研究留学を経て、現在は医系技官として主に医療機器の保険適用及び安定供給に関する職務に従事しています。「臨床医・研究者・行政官」それぞれの視点から「医療」に携わることができるのは大変貴重な経験だと感じています。岡山大学歯学部の学部生の皆様、そしてご入学を目指される皆様も、様々な経験を通じて独自の感性を磨き、「歯学・歯科医療」にアプローチしてみてもらえばと思います。

現 国立療養所 大島青松園 歯科医師

学生たちを見守る温かい手

心と身体の健康管理を
サポートします。

保健管理センター
(鹿田室)

快適な学生生活を
力強くバックアップします。

学務課教務グループ
(歯学部担当)

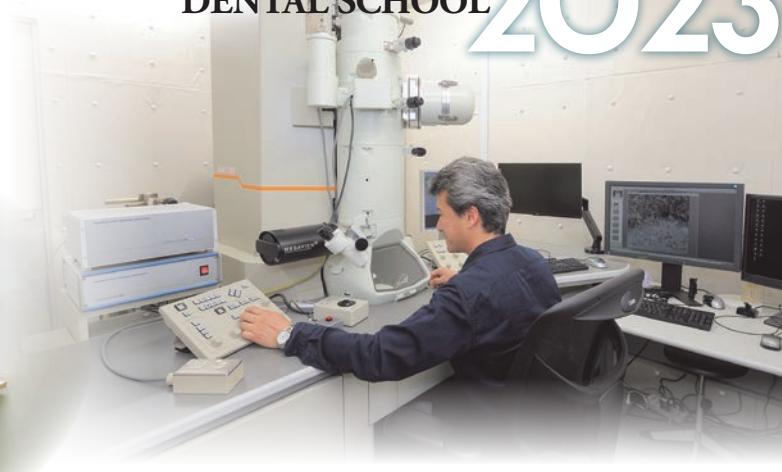
同窓会のご案内

大学と同窓会は車輪の両輪。連携と協調を礎に活動しています。卒業生にとって同窓会は“ふるさと”です。日本各地の同窓会県支部・地区支部が同窓生をサポートします。同窓会は奨学金制度などを学生の福利・厚生も支援しています。

歯学部同窓会長
千原 敏裕
昭和63年卒業



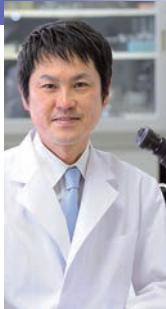
研究室紹介



口腔形態学

骨や歯を形づくる 細胞・組織の美しさを知る

形態学あるいは解剖学は、形・構造に着目して生体の営みを解明する生命科学の基礎をなす学問です。教育では、歯や歯周組織を含む全身の細胞・組織の微細構造と機能について講義と顕微鏡実習を担当します。研究では、骨や歯を構成する細胞・組織の発生メカニズムおよびホルモンや機械的刺激への応答について、光学顕微鏡・電子顕微鏡や最新の分子生物学的手法を用いて解析しています。骨や歯を中心とした細胞・組織の営みをミクロの眼で探し、歯科領域疾患の病因解明や治療法開発の基礎を築くことを目指しています。

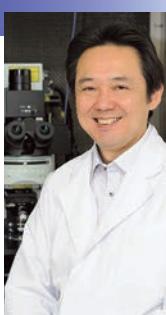


岡村 裕彦 教授
三重県立
宇治山田高等学校
平成4年卒業

口腔生理学

口腔機能の解明から 健康長寿への道筋を開く

我々の体は様々な器官・臓器から構成され、また各器官は様々な細胞から構成されます。生理学では、分子、細胞、器官、個体レベルでの機能を追求するとともに、それらを統合するシステムも重要な研究対象です。当分野では、全身及び口腔に関する多彩な機能とその土台となる様々な機構を理解するための講義・実習を行っています。研究では、口腔機能としての味覚や唾液、摂食に関わる神経機構などを分子レベルから個体レベルに至るまで追求し、その理解に基づいた健康増進のための新たな方策を模索していきます。



吉田 竜介 教授
京都府立
八幡高等学校
平成4年卒

口腔病理学

疾患を診る・病気の 原因とメカニズムの解明を目指す

人間は多種多様な病気に罹りますが、病気の原因（病因）、病気の成り立ちと経過（病態）を知ることなしに治療は不可能です。病理学とは疾患の病因と病態を探求する学問で、患者が罹患している病気の診断（病理診断）を行う重要な役割を担っています。講義では身体に生じる様々な疾患について学び、実習では顕微鏡を用いて病変部組織を観察し理解を深めます。研究では口腔腫瘍の病態メカニズムの解明と口腔組織の再生を取り組んでいます。組織形態学と分子生物学的手法を元に幹細胞を用いた組織再生、腫瘍病態の研究を進めています。

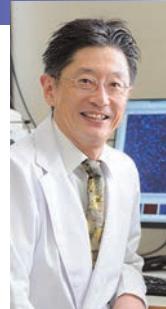


長塚 仁 教授
開成学園高等学校
昭和56年卒業

口腔機能解剖学

口腔機能解剖学分野の仕事

頬は、消化器系の口・顎・顔面で構成し、呼吸器系の鼻・特殊感覚の味覚（口）・視覚（眼）・嗅覚（鼻）・平衡聴覚（耳）の窓口があります。口は、顎の骨・筋と舌筋・歯の協力で咀嚼し、顎下腺などの大唾液腺や口の粘膜と舌の中にある小唾液腺の唾液で消化・嚥下させます。また、口は、歯・口腔・鼻腔の協力で会話のための音をつくります（構音）。通常、口は閉じていますが、呼吸の補助としても機能します。私たちはこのような多種多様な器官が常態を制御するために、相互のネットワークをどのように機能させているかを探求しています。



沢 穎彦 教授
北海道札幌西高等学校
昭和57年卒業

口腔生化学

生命分子のネットワークを解明し 次世代の歯科医療に道を開く

現代の生化学は、今や分子生物学、ゲノム学にまで広がる広大無辺な学問です。当分野では皆さんに生命の分子基盤とともに、歯科医療に特化した生化学を学べる講義を提供します。また、能動的学习プログラムである演習、先端技術であるDNA診断、遺伝子操作が体験できる実習も用意しています。研究面では世界有数のCCN ファミリー分子研究の拠点として、グローバルに共同研究を続けています。この分子は様々な生体分子をネットワーク的に操り、組織再生、癌などの難病に深く関わる重要分子で、再生医療への応用もいま期待されているところです。

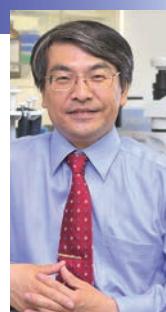


久保田 聰 教授
ヴィアール学園洛星
高等学校
昭和55年卒業

口腔微生物学

微生物と身体のせめぎ合いを 分子レベルから追及する

我々は数多くの微生物に囲まれて生きています。有益な微生物も多いですが、一部の微生物は病原体として我々に感染症を起こします。歯科領域にも種々の感染症が起こり、口腔内の代表的な感染症がう蝕や歯周病です。当分野では病原体となるウイルス、細菌あるいは真菌などの微生物、病原体から体を守る免疫をはじめとした防御機構、感染症が生じるしくみに関する講義や実習を担当しています。そして病原体の検出法や感染症の診断法の確立、抗微生物薬の開発、またワクチンを始めとする予防法の開発を目指した幅広い研究を行っています。

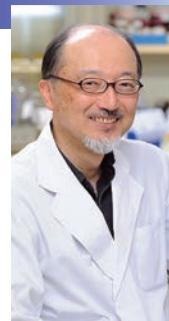


大原 直也 教授
大阪府立
市岡高等学校
昭和58年卒業

歯科薬理学

癌から骨疾患まで、新薬創出を目指す！

薬理学は、薬物が生体へ及ぼす影響や効果を「薬の理（ことわり）」として分子レベルから個体レベルまで総合的に明らかにし、薬物療法の科学的な基盤を成す学問領域です。当分野では、将来、歯科医師として活躍するために必要な薬物療法の基礎知識だけではなく、医療現場で自ら的確に判断し、安心・安全な薬物治療を提供できる歯科医師の育成を重視して教育に当たっています。また、癌や口腔領域における様々な疾患に対する新たな治療戦略の確立を目指した基礎医学研究および創薬研究を進めています。



岡元 邦彰 教授
宮崎県立
宮崎西高等学校
昭和 57 年卒業

生体材料学

未来の歯科医療を見据え、新しい材料、技術を創る

生体材料学分野では、歯科医療において重要な役割を担う医用材料、医用技術の開発を行っています。逆の観点でいうならば、新しい材料や技術を開発することで、新しい歯科医療を創ることができます。近年、材料工学に機械工学、電子工学、細胞生物学、分子生物学など様々な学問、知識を組み合わせることが進んでいます。その結果、これまでにない次世代の材料、技術の創出機運が高まっています。一緒に新しい歯科医療を創り、世界中の人々の幸せに貢献してみませんか？



松本 卓也 教授
高槻高等学校
平成元年卒業

応用情報歯学

医療情報を適切・有効に利活用し、歯科医学・医療の発展に寄与する

2017 年、新規に設置された分野で、歯科医療情報学、医療経済学、医療倫理学、そして歯科法医学を担当しています。当分野は医療情報学と情報工学を駆使することで、歯科医療と歯学教育・研究における諸課題を解決し、その持続的発展に寄与することを目標としています。医療人として適切かつ高い倫理観を備え、さまざまな領域に応用可能な情報活用能力を身につけた医療人を育成します。また、近年、必要性が高まっている有事の歯科医療体制への協力や身元確認（歯科的個人識別）への協力を可能とすべく、人材育成と研究を行っています。



柳 文修 教授
兵庫県立
長田高等学校
昭和 63 年卒業

歯科保存修復学

接着、審美、再生歯学を総合した歯科治療を目指す

歯科保存修復学分野では、むし歯の治療を中心とした歯科保存修復学の教育、臨床、研究を担当しています。

教育は、歯学部学生に歯科保存修復学の講義と、最新のシミュレーションシステムを使用した実習を行い、臨床実習を担当しています。

臨床では、審美性修復材料によるう蝕治療や知覚過敏の治療、歯内治療などを行っています。研究としては、象牙質や歯髓を再生させる治療法を開発するとともに、歯に接着する審美性修復材料を用いた新しいう蝕治療法の開発を行っています。さらに新しいう蝕診断法 OCT の開発も行っています。



吉山 昌宏 教授
大阪府立
茨木高等学校
昭和 51 年卒業

歯周病態学

「人材育成、社会に役立つ研究、SoLAを目指す臨床」そんな想いで活躍している研究室です。

口の中のバイオフィルム感染症（歯周病と歯内疾患）は、口腔のみならず全身の臓器に悪影響を及ぼします。私達は、「歯の保存」から「全身の健康」へと、歯周感染の病態や制御方法を教育・研究します。そして、広く医・薬・工・農学領域の研究者と連携し、多面的に口腔感染を制御します。さらに、地域の病院においても医科歯科連携医療を展開し、SoLA (Soft-Landing Aging) を目指した臨床・研究を実践して、生涯を支える医療人を育成しています。また、研究成果の社会実装を目指しています。

詳細は、『岡山歯周病態学』で検索！



高柴 正悟 教授
広島県立
福山誠之館高等学校
昭和 55 年卒業

インプラント再生補綴学

臨床事実に基づき、分子生物学的手法を駆使して新しい歯科補綴学を切り開く

当分野は、インプラント義歯・クラウンブリッジ補綴学の講義、実習を担当しています。補綴学とは、歯や口の中の組織の欠損により喪失、障害した形態と機能の回復を目的とした学問ですが、我々は人工物で欠損回復してきた従来の手法を大きく改革し、バイオエンジニアリングを駆使して歯や口の中の組織再生を誘導する技術を開発すべく努力しています。また、頸関節症・口腔顔面痛、睡眠時無呼吸症候群などに対する先進的な治療法開発や、デジタル技術を統合した高度補綴治療、高齢者の栄養障害の問題解決などにも精力的に取り組んでいます。



窪木 拓男 教授
岡山県立
井原高等学校
昭和 55 年卒業

咬合・有床義歯補綴学

「楽しくおいしく食べる」をストラテジーに超高齢社会を迎える

私たちの教室は、総入れ歯とか部分入れ歯といった有床義歯の講義と実習を担当しています。

実際の治療は、一般的な入れ歯から、インプラント、摂食嚥下障害、顎顔面補綴や頸関節の治療といった多岐にわたる治療を行っています。そして、それを支える脳機能研究、口腔軟組織や骨組織の生化学的研究とバイオエンジニアリング、摂食嚥下障害や顎関節症の治療に関する研究を行っています。また世界に先駆けて、ガンで舌を失った人が会話を取り戻すための「夢の会話プロジェクト」を立ち上げて活動しています！

一度 HP (<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~2hotetsu/>) をご覧下さい。

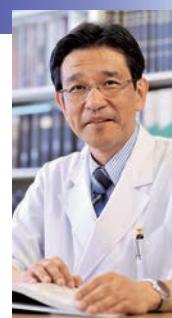


皆木 省吾 教授
岡山県立
岡山操山高等学校
昭和 51 年卒業

歯科矯正学

審美、機能の両面からみた最新の歯科矯正学を学ぼう

矯正歯科治療は歯並びを整えることによる機能的な問題の解決のみならず、患者さんの審美的な問題に対する要求を満たすことを治療目的としています。これを成し遂げるために、当分野では従来の矯正歯科治療法はもとより、歯科矯正用アンカースクリューや歯の裏側からの装置を用いた治療、骨延長術等を併用した最新の治療方法を用いて患者さんの様々なニーズに応える治療を行っています。また、「口唇裂・口蓋裂総合治療センター」を医科・歯科連携のもと設置し、患者さんの出生直後から成人までの長期間にわたる一貫した総合治療も行っています。



上岡 寛 教授
徳島県立
城ノ内高等学校
昭和 58 年卒業

顎口腔再建外科学

Oral Science の探求とそれに基づいた口腔外科医療の実践

咀嚼や嚥下、呼吸などの生命を維持する上で重要な機能を担う口腔は、歯を支える顎骨やその周囲の筋肉、神経など様々な器官が調和して、これら複雑な運動を行っています。そして、構成する各器官のそれぞれに多くの疾患（先天異常、発育異常、腫瘍、炎症など）が存在します。口腔外科学は、これら口腔に発生する様々な疾患の治療を行う分野で、われわれ顎口腔再建外科学は、特に、機能や形態の復元・再建に専門性を置いた臨床分野です。こういった疾患は、すべて生命科学を基礎とした知識をもとに診断・治療が行われますが、当教室ではそれら口腔に関わる科学（Oral Science）を探求することを目標とし、これら科学的見識を備えて、幅広く活動できる歯科医師を育成することに力を注いでいます。



飯田 征二 教授
奈良県立
奈良高等学校
昭和 54 年卒業

口腔顎顔面外科学

口腔外科の最後の砦となる

口腔外科の『最後の砦』病院としての責任を果たすためには、口腔外科医として手術技量を高めるだけではなく、新規治療法を研究開発する必要があります。当分野では口腔癌の治療を専門としており、新規口腔癌バイオマーカーの検索や AI を用いた口腔癌の転移予測、顎変形症患者の顔貌の形態学的分析を行っています。また基礎疾患患者の病棟管理や口腔粘膜疾患の診断も経験でき、海外留学、がんセンターへの国内留学、救命救急センター研修など多彩なキャリアプランを用意しています。あなたも口腔外科医としての第一歩を踏み出してください。



伊原木 聰一郎 准教授
岡山高等学校
平成 9 年卒業

歯科放射線学

画像診断・口腔癌保存治療をテーマに歯科放射線の分野を切り開く

当教室は、歯科放射線学の講義と実習を担当しています。診療にはまず診断が必要であり、診断の中で画像診断は非常に大きな比重を占めます。医用画像機器の種類の豊富さと質の向上は目覚しいものがあり、これらの機器を理解し、活用できるよう指導します。また、審美性と機能性の保全のために口腔癌の小線源放射線治療も行い、口腔癌の保存的治療を目指しています。

研究では、病変内の経時的血行動態を把握できるダイナミック MRI によって、口腔病変の非観血的な質的診断能の向上を目指しています。分子イメージングおよび個人識別に関する研究も進めています。



浅海 淳一 教授
愛媛県立
今治西高等学校
昭和 52 年卒業

予防歯科学

健康人を創造し、健康社会を実現する

困っている人を救うのは医療人の醍醐味です。一方、「いつまでも健康でいられる人」を一人でも多く増やすことも医療人の責務です。それが予防歯科です。

講義を通じて、環境問題、健康格差、医療経済などの社会的問題を一緒に考えます。臨床では、歯科疾患の予防法を習得してもらいます。予防に繋がる研究であれば、咬み合わせ、唾液、栄養など多角的な視点から取り組んでいます。最も特徴的なのは、学外活動でしょう。保健所、学校、職場、地域での集団健診や保健教育、そして大規模疫学調査を通じて、社会全体の健康を追求します。



森田 学 教授
広島大学附属
福山高等学校
昭和 51 年卒業

小児歯科学

子どもたちの健全な口腔内環境作りを目指した小児歯科医療

小児歯科学分野では、成長発育に伴い変化する口腔内環境を健全な状態に保つための歯科疾患の予防と治療についての知識と技術を学びます。

小児歯科におけるゴールは健全な永久歯列の完成です。乳歯列から永久歯列へと長期間にわたり、むし歯の治療、外傷歯への対応および歯並びに関する咬合誘導を習得します。研究面では、むし歯の原因菌に関する分子生物学的研究を中心に行っています。特に口腔内バイオフィルム（デンタルプラーク）の形成メカニズムの解明に取り組んでいます。



仲野 道代 教授
山口県立
宇部高等学校
昭和 61 年卒業

歯科麻酔・特別支援歯学

支援を必要としている人たちに安全・安心・快適な歯科医療を

超高齢社会です。高血圧、心疾患、糖尿病などの病気を持った患者様が増えてきました。このような患者様に安全、安心、快適な歯科治療を提供すること、さらに、医療支援を必要としている人たちが、その地域で十分な歯科治療を受けることができるよう、成熟した地域医療システムを構築することができます。

当分野は、歯科治療時の「安心」・「安全」・「快適」を科学する歯科麻酔学と「スペシャルニーズ歯科センター」と連携した特別支援歯学を専門とする臨床歯学研究分野です。



宮脇 卓也 教授
兵庫県立
小野高等学校
昭和 55 年卒業

総合歯科学

提供する歯科医療の質の向上を常に目指す歯科医師の養成

当教室は、歯科医師としての基本的価値観や医療における倫理性、そして歯科医療の質と安全の管理についての講義を歯学部学生に行ってています。また病院では、歯科医師免許取得直後の歯科医師の基本的診療姿勢の教育を担当し、医療人としてのプロフェッショナリズムや基本的な診療技能と患者対応の体得、また生涯にわたって共に学ぶ姿勢や科学的探究心を体得できるように指導しています。この様な教育、臨床、またそれらに関する研究の成果を通して提供する歯科医療の質の向上を常に目指し、明日を担う歯科医師を養成したいと考えています。



白井 肇 講師
兵庫県立
姫路西高等学校
昭和 58 年卒業



サークル紹介

歯学部剣道部

私たち歯学部剣道部は、週3回鹿田キャンパス武道場で稽古を行っており、現在歯学部員の人数は少ないですが、医学部の学生と合わせて10名程度で、学部や学年で分け隔てなく活気のある雰囲気で活動しています。春・秋の関西医薬学生剣道大会、中四国医薬学生剣道大会、そして夏のオールデンタルと年間を通じて多くの大会があり、鹿田剣道部は男女とも各大会の上位を席巻しています。最近では初心者から剣道を始める部員も多く、そのような部員も大会で好成績を収めており、充実した活動を展開しています。



鹿田空手道部

鹿田空手道部は、月・水・金曜日の18時～20時に鹿田キャンパスの武道場で練習しています。空手道部と聞いて、経験者が多いのではないかと思うかもしれません、実は部員の約8割が初心者で運動未経験者も多いです。大学から新しいことを始めたい人にお勧めです。また、土日祝は部活が休みなので、勉強やバイトの両立も心配ありません。さらに昨年度からは、マスクの着用、換気、練習メニューの見直しなどの感染症対策も行っています。少しでも空手に興味のある方は、ぜひ気軽に武道場に足を運んでください!!



鹿田美術部

鹿田美術部は鹿田祭などの展示に向けて、絵画・イラスト・アクセサリー・デジタルアートなど、様々な作品を制作しています！



感染症対策として部室の換気や、画材の消毒を徹底しながら制作活動を行っています。鹿田美術部は、兼部可能＆必須参加のイベントなし！自分のペースで製作を進められる自由度の高い部活です。筆やペン、コピックなど、画材もレンタル可能なので最初は何も持っていない大丈夫です。新しいことに挑戦したい方、美術部に興味がある方、ぜひ部室に遊びに来てください！

歯学部バドミントン部

歯学部バドミントン部は週3回、津島清水記念体育館で練習しています。感染対策を図りながら、部員皆ポジティブに、それぞれの目標に向かって励んでいます。各々スキルの差はあるけれど、「バドミントンが好きで、上手くなりたい」という思いは同じです。練習にレクリエーション的な要素を取り入れるなど、学年の枠を越え互いに高め合っています。夏の大会・オールデンタルは惜しくも2年連続の中止となってしまいましたが、毎年大会に参加できていた有難みを改めて感じられました。次回の開催を切に願いながら、日々研鑽を重ねています。



鹿田柔道部

毎週火・木に18時から武道場で練習しています。ほとんどの部員が大学から柔道を始めているので、柔道をやった事がなくても運動経験が乏しくても大丈夫です。基礎から丁寧に先輩方が教えてくれます。経験者の方も、その経験を生かして活躍したり更に技を磨いたりする事ができます。手指消毒や換気等の対策をしっかりと行った上で活動しています。また、とてもアットホームなので勉強面においても先輩方に気軽に相談や質問することができ、文武両道できる素敵な部活動です！男女関わらず、どなたでも興味がある方は是非来てください。



DMC

DMCは鹿田唯一のダンス部で、週2回2時間練習しています。大学からダンスを始めた部員も多いので、未経験者はもちろん、楽しく踊りたい人、K-POPが好きな人等、どんな人でも大歓迎です。コロナ禍ですが、マスクの着用などの感染対策を行いながら部員だけのイベントを開催するなど、練習の成果を披露する機会も設けており、部員同士で技術やモチベーションを高め合っている活気に溢れた部活です！キラキラした大学生活になること間違いなしの部活なので、少しでも興味を持ってくれた人がいたらぜひ練習場に遊びに来てください！



OSAL

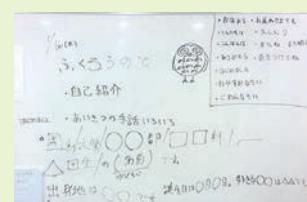
Okayama Save a Life、略してOSALです。私たちは、講義やディスカッションを通して救急救命を深く学んだり、CPR（心肺蘇生法）・気管挿管・注射のやり方・外科結びといった臨床実技の練習をしたりしています。コロナ禍ではZoomを利用したオンライン勉強会も取り入れています。また、多くの人が緊急時にCPRを行えるよう、学内外の方にCPRを普及させるボランティアも行っています。救急救命に興味のある方、入学してすぐ臨床実技を学びたい方、是非OSALへ！

鹿田写真部

鹿田写真部は、木曜日の19時～20時に部会を行っています。部会では、撮った写真を見せ合ったり、カメラの知識や写真の撮り方などを紹介したりしています。新型コロナウイルス感染症の影響で撮影旅行が思うようにできていない状況ではありますが、普段は月1回程度、希望者同士で近場に行きます。昨年は7月にひまわりを、12月にイルミネーションを撮影しに行きました。また、撮った写真は岡山大学病院の廊下に飾らせてもらっています。最初はカメラを持っていなくても大丈夫です。ぜひ部会に遊びに来てみてください！



鹿田手話同好会ふくろうのて



鹿田ふくろうのては、手話を身につけることを目標としています。週に1回、ミニゲームや手話でのプレゼン、声を使わない会話など様々な活動を通して手話を覚えていきます。未経験者、初心者、経験者、どなたでも大歓迎です。2022年度から本格的に始動したばかりの新しい団体なので、楽しく活動できるようなイベントを模索中です。津島の手話サークルとも交流します。コロナ対策として三密を避けた対面での活動とオンラインでの活動を組み合わせながら工夫して活動しています。ぜひ、一緒に手話ペリ（手話のおしゃべり）を楽しみましょう！

歯学部弓道部

歯学部弓道部は、医学部弓道部と共に『鹿田弓道部』として活動しています。自主練習を主体とし、大会前には強化練習を行います。鹿田弓道部に所属する部員の殆どが大学から弓道を始めた初心者ですが、練習を積み、さまざまな試合で好成績を残しています。現在ではオンラインで開催される試合が多く、健康管理やマスクの着用などの感染対策を徹底した上で活動を行っています。弓道の格好良さに惹かれた方、何か新しいことに挑戦したい方、もっと弓を引きたい経験者の方、是非弓道場に来てみてください。部員一同心よりお待ちしております！





歯学部硬式庭球部

月曜日、木曜日（稀に水曜日）、土曜日の週に3回活動しています。大学から始めた人も多く所属しているので、テニス未経験者の人でも安心してください。例年、夏に開催されるデンタルと呼ばれる大会に向けて部活を行っています。部員みんなで応援し合いながら他校のライバルたちと闘うのは本当にワクワクします。一生の思い出になる大学生活を送りたい方、私達と一緒にテニスしませんか？（マスク着用、共用物の消毒など感染対策を行っています。）

鹿田茶道部

鹿田茶道部には歯学科・医学科・保健学科の学生が所属しており、毎週火曜日と金曜日に部室兼茶室でお点前の練習をしています。ここ数年はコロナ禍のため、例年外部の方をお呼びして行っていた臘月茶会や鹿田茶会を開催できていません。それでも、先輩達が大切にしていたことを日々のお点前のお稽古を通して受け継いでいます。



茶道を通じて日本文化に触れることも大切にしています。また、定期的にものづくり体験など茶道以外のイベントも行って、部員同士交流を深めています。ぜひ一緒に茶道を楽しみましょう！

医学部・歯学部漕艇部

ボートは馴染みのない競技かもしれません、ほとんどが初心者で入部しているので、大学から始めるにもぴったりです！4月から9月は西京体などの大会に向けて活動し、10月から3月は週1日の練習によって再びオンシーズンに向けて力をつけていきます。船を漕ぐローヤーだけではなく、自分で体を動かすよりもサポート役として、縁の下の力持ちになる舵を取るコックス、そしてマネージャーという大切な役割もあります。コロナ対策として、検温とマスクの着用を徹底しています。優しい先輩達ばかりで魅力いっぱいの部活です！



交通アクセス

岡山駅まで JR 利用

- ▶ 新大阪から新幹線で約47分
- ▶ 神戸から新幹線で約31分
- ▶ 広島から新幹線で約 34 分
- ▶ 高松から JR で約 1 時間

岡山駅から

- ・岡山駅後楽園口（東口）バスターミナルから「12」「22」「52」「62」「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
- ・岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バス「大学病院」行きが構内に入ります（地図内 --- 線）他・岡電バス
- ・岡山駅前（ドレミの街または高島屋入口）から循環バスで「大学病院入口」下車
- ・岡山駅前タクシー乗り場からタクシーで約10分
- ・岡山駅前から「清輝橋」行き路面電車で12分「清輝橋」下車、西へ徒歩 5 ~ 10 分

岡山桃太郎空港から

- ・「岡山市内方面」行バスに乗車、「岡山駅」で下車、岡山駅からは上記交通機関を利用

岡山まで山陽自動車道利用

- ・岡山ICで降り岡山市内方面へ、または、早島ICを降り岡山市内方面へ



わたしの岡大ライフ

1年次生 心を充実させる大学生活 Aさんの場合【自宅通学】

岡山まで新幹線で自宅から通っています。

1年次は、津島と鹿田のどちらのキャンパスでも授業があるため、駅から自転車で通学しています。大学では自分の力で授業を組む必要があり、わからないことだらけでとても不安でした。しかし、親切な先輩がたくさんおられ、履修登録など大学生活のことを教えてもらい、助けていただきました。大学生は高校生の頃より、自由な時間が増え、心に余裕ができます。

これから、部活動などにも参加して、同級生や先輩との繋がりを大切にして、日々楽しんで過ごしたいと思います。

■ 通学時間／1時間（新幹線、自転車）

■ サークル／なし

収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥0
仕送り	¥0
その他	¥80,000
支出の部	
家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥0
通信費	¥5,000
交通費	¥60,000
貯蓄	¥15,000
その他	¥0



2年次生 バイトに追われる日々に快適さを Bさんの場合【自宅外通学】

鹿田キャンパスから自転車ですぐのところでの一人暮らしをしています。

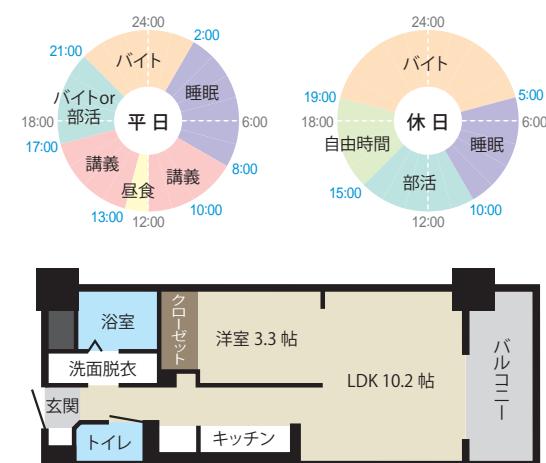
1年次にはほぼすべての講義がオンラインでの実施であり、慣れない生活に追われていました。今年度からは高学年からの多忙な講義スケジュールに集中できるように、少しずつ貯金をしていこうと考えています。

日々の学習、部活動、アルバイトの両立は大変だとは感じますが、毎日計画を立てて充実した学生生活を送りたいと考えています。

■ 通学時間／5分（自転車）

■ サークル／あり

収入の部	
奨学金	¥66,700
バイト代	¥90,000
仕送り	¥0
その他	¥0
支出の部	
家賃	¥62,220
光熱費	¥9,000
食費	¥30,000
通信費	¥5,000
交通費	¥0
貯蓄	¥50,480
その他	¥0



3年次生 自分の時間を大切に Cさんの場合【自宅通学】

兵庫県から電車と新幹線で通学しています。通学時間が長いため、部活動には入りませんでした。

2年次まではオンライン授業が多く自由時間が長かったので、アルバイトを中心とした生活を送っていました。3年次からは専門科目の授業のみになり、授業内容がより難しく、平日の自由時間も少なくなります。勉強だけでなく、趣味の時間も大事だと思うので、限りある自由時間を有意義に使えるよう、メリハリのついた生活を送っていました。

■ 通学時間／4時間（電車、新幹線）

■ サークル／なし

収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥50,000
仕送り	¥0
その他	¥10,000
支出の部	
家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥5,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥10,000
その他	¥45,000



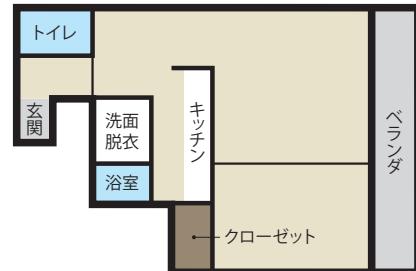
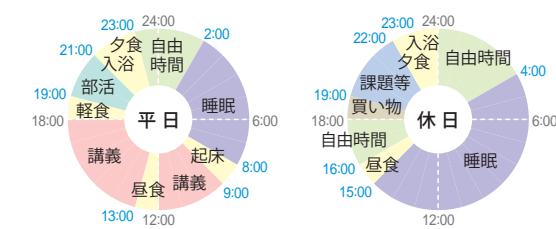
4年次生 インドア学生の生活 …… Dさんの場合 【自宅外通学】

4年次生になり授業が本格的になってきたため、自由時間が貴重なものになりました。なので休日はほとんど外出せず自宅でのんびりしています。平日、授業後に家事をしたくないので、休日に食材を買いためして3日分ほど作るようにしています。

これからどんどん忙しくなり自由時間がすくなくなるので、授業中に学習内容をちゃんと頭に入れて自宅ではゆっくりできるよう、メリハリのある生活を心掛けていきたいです。

- 通学時間／5分（徒歩）
- サークル／あり

収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥30,000
仕送り	¥140,000
その他	¥0
支出の部	
家賃	¥70,000
光熱費	¥10,000
食費	¥40,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥30,000
その他	¥20,000



5年次生 生活スタイルの変化 …… Eさんの場合 【自宅通学】

5年次生になると、座学だけでなく実習時間も増えるため、忙しくなってきます。また夏には CBT・OSCE という試験があるため、生活スタイルも変化してきます。今まで部活動やアルバイトに多くの時間を使っていましたが、現在は少し控えて勉強に当てています。授業後に友人たちと勉強することで、楽しく効率的に勉強できているのではないかと思います。メリハリを付けた生活を送り、残りの学生生活を充実させたいです。

- 通学時間／20分（自転車）
- サークル／あり

収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥50,000
仕送り	¥0
その他	¥0
支出の部	
家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥0
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥40,000
その他	¥10,000



6年次生 日々充実した臨床実習 …… Fさんの場合 【自宅通学】

6年次生はこの時期臨床実習のため、毎日診療に励んでいます。臨床実習では、臨床現場での技能や知識、患者との接し方など、医療従事者として働く上で大切な事を学んでいます。また、各診療科でのローテーションやレポートの作成など、休む暇が無く忙しい日々を過ごしています。

さらに、この時期には国家試験まで1年を切っており、国家試験の勉強も同時並行で行わなければなりません。体調管理には十分気を付けなければいけませんが、私は実家から通学していますので、家族のサポートもあり、毎日健康で充実した日々を過ごしています。

- 通学時間／30分（自転車）
- サークル／なし

収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥0
仕送り	¥0
その他	¥20,000
支出の部	
家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥0
通信費	¥15,000
交通費	¥0
貯蓄	¥5,000
その他	¥0



SHIKATA CAMPUS

鹿田キャンパスは、歯学部、医学部および薬学部の一部からなる医療系キャンパスです。

明治3年（1870）岡山藩医学館に始まる歴史あるキャンパスで、大正時代の赤れんがの医学部正門など、当時を思わせる建築物も多く点在しています。

岡山市中心部にあり、交通の便もよく周囲には大型スーパーや飲食店などもたくさんあり、生活しやすい立地です。



⑧ グラウンド

鹿田キャンパス



③ 歯学部・岡山大学病院正門

患者様を含めて、とても多くの人が出入りする門です。構内へのバスも通ります。

赤煉瓦の医学部正門は、大正11年岡山医科大学が設立した頃のもので、岡山藩医学館を起源とする歴史を感じさせます。



鹿田キャンパスも津島キャンパスも、キャンパス敷地内は建物内外を問わず全面禁煙です。

キャンパス紹介



◀交通アクセス

⑤ 記念会館



記念会館には、食堂や大学生協のコジカショップ、保健管理センター（鹿田室）等が入っています。コジカショップでは、医歯学系の専門書やパソコン用品もあります。

① 一般教育棟



医学部・歯学部の学生も教養教育科目はここで受講することになります。学生支援センターや国際センターなどもこの建物の中にあります。

⑥ 医歯薬融合型教育研究棟

法医学解剖関係施設、共同実験室、医歯薬各分野の研究室・演習室やチーム医療シミュレーション教育、臨床能力のスキルアップのための設備を整備した医療教育統合開発センター等が入る医・歯・薬学の専門知識を集結した学際的研究・教育施設です。(生体材料学分野が配置されています。)

⑦ 附属図書館鹿田分館



中央、鹿田分館合わせて200万冊を超える図書と4万種の雑誌、様々な電子資料及び映像音響資料を所蔵。情報化、国際化、生涯学習に対応した開かれた大学図書館としてサービスを提供しています。新装後はカフェテラスも設置され、ますます利用しやすくなりました。

⑥ 時計台



⑦ Jテラス

津島キャンパスは、JR岡山駅から北に約2.5km、岡山市街地に総面積635,308m²の自然豊かな広大な敷地に、8学部と研究施設、附属図書館中央館、テニスコート・野球場・陸上競技場等の体育施設、食堂・カフェテリア・コンビニ等の生協施設などが整備されています。

大学へのメインストリートの南北道路（岡山大学筋）は、附属図書館の時計台を正面に、左右のいちょうの並木道が岡山大学へと誘ってくれます。

津島キャンパス

TSUSHIMA CAMPUS

病院紹介

高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる
岡山大学病院（歯科）



歯科系代表副病院長
浅海 淳一 教授
今治西高等学校
昭和 52 年卒業

“高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる”は、岡山大学病院の理念です。岡山の土地柄にとても合っています。

岡山大学病院は、医学部の附属病院として 150 年にわたる歴史と伝統を有している国内屈指の大学病院です。中国・四国地区で唯一の臨床研究中核病院に選定されており、全国的にも有数の先進的医療の要となっています。歯科系におきましても中国・四国を中心に多くの関連病院があり、広く医療に貢献しています。

岡山大学病院の中で歯科系は、4 診療科の中に 12 の診療部門専門と、スペシャルニーズ歯科センターおよび医療支援歯科治療部など、歯科特有の中央施設また医科と連携したセンターがあります。さらに、専門外来が 12 あり、全国でも有数の充実した診療体制を整えています。特に、病院が医科と歯科が統合している利点を活かし、教育、研究、および診療の分野で医科との連携が非常に強くなっています。それが岡山大学歯学部の特徴の一つとなっています。

このような充実した診療体制のある病院で、歯学部の学生の皆さんには 1 年次に早速、“早期見学実習”という科目で、臨床の現場に触れながら勉強することができます。5~6 年次には、“診療参加型臨床実習”という科目で、教員の指導のもと “Student Dentist”として患者さんと接しながら、歯科医師になるのに必要な実践力を習得します。岡山大学ではこの臨床教育に力を入れており、この中では “在宅・訪問歯科診療実習”もあり、社会の高齢化の進展に対応できる臨床能力を涵養するためのカリキュラムが組まれています。卒業後の卒後研修体制も岡山大学病院は大変充実しており、多くの学生がそのまま岡山大学に残って研修をしています。

岡山大学で実践力を身に付け、高度な技術を学び、そして医科とも連携できる優れた歯科医師となって、社会に貢献しましょう！



診療科等案内

歯科

- 総合歯科部門
- 保存歯科部門
- 歯周科部門
- 口腔インプラント科部門
- 補綴歯科部門
- 予防歯科部門
- 歯科放射線科部門
- 歯科麻酔科部門

口腔外科

- 顎口腔再建外科部門
- 口腔顎面外科部門

矯正歯科

小児歯科

スペシャルニーズ歯科センター

- 特別支援歯科部門
- 摂食・嚥下リハビリテーション部門

卒後臨床研修センター（歯科研修部門）

医療支援歯科治療部

- 高度医療支援歯科部門
- 周術期管理歯科部門

歯科総合診断室（予診室）

歯科地域医療支援室

専門外来

- 顎関節症・口腔顔面痛み外来
- 審美歯科外来
- 特殊義歯外来
- スポーツ歯科外来
- 顎顔面補綴外来
- 口のかわき・味覚外来
- 歯科金属アレルギー外来
- 口臭外来
- 口腔がん外来
- 夢の会話プロジェクト外来
- 母と子の歯科外来

診療科連携部門（センター）

- 小児頭蓋顔面形成センター
- 頭頸部がんセンター
- 小児医療センター
- 口腔検査・診断センター
- 成人先天性心疾患センター
- 口唇裂・口蓋裂総合治療センター
- 侵襲性歯周炎センター
- デンタルインプラントセンター





地域の障害児者、高齢者の口腔の QOL 向上に貢献



江草 正彦 スペシャルニーズ歯科センター センター長・教授
(岡山県立岡山大安寺高等学校 昭和 56 年卒業)

スペシャルニーズ歯科センターは、身体的、精神的、そして心理的に種々の障害や疾患のある歯科的に「特別に支援の必要な人」に対して、キュア・ケア・リハビリテーションを医療・保健・福祉などの他の領域とも連携して行っています。また、地域で生活する乳幼児から高齢者まで多くの人々に対するシームレスケアの実現に向けたシステム作りの第一歩として、現在「地域連携クリニカルパス」を開発しています。このように当センターは、歯科のみならず医療全般の領域において、生活に密着した地域連携のフロントランナーをめざしています。

当センターには、特別支援歯科治療部門（障害児者歯科治療）と摂食・嚥下リハビリテーション部門があります。特別支援歯科治療部門では、歯科麻酔との連携によって、中四国地方では数少ない全身麻酔・静脈内鎮静法等での障害者の歯科治療を行っています。また、自閉症関連では世界的有名な TEACCH プログラムによる行動療法なども実践しています。

また摂食・嚥下リハビリテーション部門では、医科からの紹介患者（乳幼児から高齢者まで）も多数で、医科歯科連携の要の一つになっています。家庭や学校で家族や友達と一緒に食事を食べたい、自分の口から美味しさを味わいながら食べたいと、摂食・嚥下機能に障害のある誰もが望んでいます。当部門では、障害のある人を中心とした口腔領域の医療・保健とその家族を含めた食生活の支援も行っています。



▲摂食・嚥下リハビリテーション



▲外来での全身麻酔下歯科治療

医療支援歯科治療部の紹介



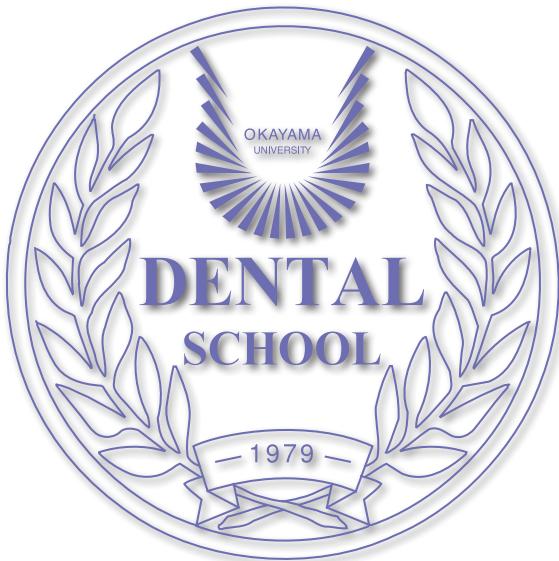
曾我 賢彦 医療支援歯科治療部 部長・准教授
(滋賀県立彦根東高等学校 平成 4 年卒業)

歯科医師の専門性は、病院医療の意外なところで驚くほど役に立ちます。岡山大学病院では高度な医療が日々展開されています。の中には、口の中の適切な管理が不可欠なものが少なくありません。臓器移植医療に伴う免疫抑制状態や、がん治療（とりわけ白血病等の血液悪性疾患）そして心臓血管外科の手術などでは、口の中の感染対策や経口栄養摂取のサポートが極めて重要です。私たちは、本院で行われる高度な医療を歯科の専門性からサポートする医科歯科連携の拠点として、歯科系の多くの科の応援歯科医師や歯科衛生士等とともに活動を展開しています。広い見識をもった医療人を育成するため、この医療連携の場を学生の間から積極的に知ってもらい、若い豊かな感性に何か良い影響を与えることができればと考えています。

医療現場の一線で活躍する医師などのスタッフと歯科医師が協働する姿を目の当たりにし、歯科医師が医療を構成する一員であることを身を持って感じることができます。楽しいですよ！



▲ICU での口腔ケア



岡山大学

岡山大学歯学部

〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等

学務課教務グループ（歯学部担当）

TEL : 086-235-6627 FAX : 086-235-7552

URL: <https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>

岡山大学歯学部広報委員会編集

